

ゆめみのり



南島原市農業委員会だより

令和6年6月発行



たわわに実った『南島原みかん』

産地が一体となって『南島原みかん』をPR

撮影協力 西有家町長野 松川正さん(温州みかん「宮川早生」)



みかん農業の研修生を募集しています!



進めよう！「地域計画」

地域計画とは、将来の農地利用や地域の目標などを取りまとめた計画書です。
みんなで将来のことを話し合しましょう！

《地域計画の作成イメージ》

農業委員会

農家の経営や意向をもとに地図等の作成（**現況地図**や**目標地図の素案**など）
※貸し手・借り手の情報を収集

市

- ・話し合いの場の開催
- ・計画書づくり
（関係機関や団体と連携）

一話し合いの場の開催一



農業従事者が減少
全国：15年で
約90万人減少

借り手が見つからないから
外から担い手を探すエリア
にしようか？

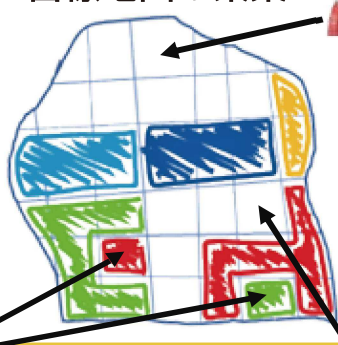


農地の団地化も目指そう！



このままだと誰も
耕作する人がいない…（離農）

目標地図の素案



完成した目標地図



ここの農地交換
をしたいな！

担い手

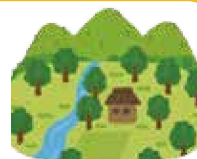


ここの農地も
借りたいな！



市では令和7年3月までに**地域計画**を策定し、
その後は、随時見直しを行います！

（問い合わせ先 南島原市農林課 ☎0957-73-6661）



農地の利用状況調査（農地パトロール）を実施します

農地利用状況調査（農地パトロール）は、農地法に基づき毎年1回、市内の全農地の利用状況を確認する調査です。この調査は、①**地域の農地利用の確認**、②**遊休農地の実態把握と発生防止・解消**、③**違反転用防止と早期発見**に重点的に取り組むことを目的に実施します。

今年も8月を強化月間として農業委員、農地利用最適化推進委員が調査を予定していますが、農地にやむなく立ち入る場合もありますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

「南島原市農地等の最適化の推進」に関する意見書を市長へ提出



その他にも ① 農産物のブランド化 ② 新規作物の研究・普及(条件不利地域など) ③ 地産地消・食育の推進等について意見交換を行いました。

- 農業委員会では、3月の総会において、「農業委員会等に関する法律」第38条の規定に基づく農政に関する提案をとりまとめ、令和6年5月17日(金)、松本市長へ提出し意見交換を行いました。
- 意見書の概要項目は以下のとおりです。
1. 農業後継者及び新規就農者の営農定着に向けた支援等
 2. 耕作放棄地解消対策について
 3. 農業基盤整備(区画整備、農道等の改良)の推進について
 4. 有害鳥獣対策について
 5. 女性農業者の活躍推進について
 6. スマート農業の推進について
 7. 肥料や資材、飼料高騰に対する支援について

農業者年金に加入して女性の会に入りませんか？

4月26日(金)に第18回南島原市農業者年金女性の会総会と学習会を開催しました。

受講した市政出前講座「こころの健康づくり講座」では、福祉課障害福祉班の江川さんを講師に「うつ病」について学びました。

うつ病は特別な病気ではなく、早期に発見して治療することでよくなる病気であること、身近な人の身体やこころの変化に気づいた時は、まずはひと声かけてみて、話を聴いて共感し、支援(医療機関や相談機関)へつなげ温かく見守るという対応の仕方、またさまざまな悩みに対応した相談窓口があることも知りました。

講話の中で江川さんがおっしゃった「福祉とは、“ふ” 普段の“く” 暮らしを“し” 幸せにするもの。」「年齢を重ねても健康でいるために必要なものは“教養”ではなく“今日・用”(今日する用事を作ること)。」という言葉が印象的でした。真剣な中に笑いもあり、あっという間に時間が過ぎました。

人は笑うと、こころが健康になるホルモンが脳から出てくるそうです。女性の会は“笑顔の会”です。農業者年金に加入して女性の会に入って、一緒に活動しませんか？

★今後の予定：学習会(7月、12月) 視察研修(9月)

【問い合わせ先】南島原市農業委員会 ☎0957-73-6612



現況届はお忘れなく!! — 農業者年金 —

農業者年金受給者すべての対象者は毎年**6月末までに**、農業委員会へ「現況届」を提出することになっています。

必ず忘れないように農業委員会または市役所各支所に提出してください。

(現況届は毎年5月末までに農業者年金基金から自宅に郵送されます)



有機農業にける農業者人生

しろたにひろき

北有馬町の城谷大貴さんは、有機栽培と特別栽培で玉ねぎを生産しています。耕作面積は約4haで、今は約1haが有機栽培。安心・安全で美味しい玉ねぎ作りに励んでいます。

有機栽培では、土づくりから収穫まで、全ての過程において化学肥料や化学合成農薬を使用できません。それらの混入を避けるため、育苗も自家で行います。植え付けから収穫までの数か月間は、常に生育状況の確認で、気が抜けない毎日です。



先祖代々農業を営む5代目の城谷さんは、妻の祐佳(ゆか)さんと両親の4人の家族経営です。

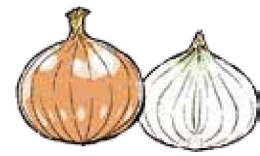


城谷さんの理想は「全部有機栽培」。その準備はできていますが、生産と販売の兼ね合いがあり、まだ実現していないそうです。

こだわりの「有機も特別も味を変えない」こと。どちらにも全て有機栽培と同じ成分の肥料などを使用しています。安心・安全で美味しい玉ねぎを作るために妥協をしない有機農業にける熱い想いを感しました。

作るのも管理するのも大変です。それでも有機栽培を続けるのは、消費者の「美味しい！」という声があるから。

そこからは有機の認証が受けられません。有機のほ場と認められるには、化学肥料や化学合成農薬を3年間使用していないという基準があるためです。なにもなければ3年間ですが、それ以上になることもあります。



有機栽培では、登録された肥料や農薬の使用が認められていますが、虫や病気の発生を抑えきれない時には、収穫ができないうちに大きな損失となるためやむなく化学合成農薬を使用し有機栽培から特別栽培に切り替えます。一度でも使用すると、

なるちゃんのレシピ ジャポネソース

【材料】(★すりおろす)

- ★玉ねぎ……………約300g
- ★りんご……………1/4個
- ★にんにく、しょうが……………各1片
- ◎しょうゆ……………大さじ5
- ◎みりん、酒、酢……………各大さじ3
- ◎砂糖、オリーブオイル……………各大さじ2

【作り方】

- (1) 全ての材料を小鍋に入れ中火にかける。
- (2) 沸騰したら弱火でアクを取りながら3分煮る。



- ※ 焼いた鶏肉や豚肉、ローストビーフやハンバーグ、付け合わせにもよく合います。
- ※ 清潔な容器に入れ、冷蔵庫で1週間程度は保存可能です。

城谷さんおすすめ簡単料理
玉ねぎに切れ目を入れて、バターと醤油、塩少々をかけてレンジでチン！子どもさんも美味しいと、よく食べるそうです。
ぜひ、試してみてください！

発行

南島原市農業委員会

南島原市有家町山川58番地1 TEL0957-73-6612

南島原市農業委員会

